平成30年度 施設分析シート

	,	H2773 171 -		•						
I施	設の概要				施設コー	ド SO	05-01-01			
	施設名	区民会館	(+	ナンパール荒	JII)					
	所在地	荒川一丁								
	部課名	地域文化	スァ	ポーツ部文化	交流推進課					
拉	設の履歴	時期		建築費	財源内容(単位:千円)					
)JE				(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
	建築	昭和50年	-	1, 950, 000						
	増改築①	平成4年		1, 540, 000	0	0	., ,			
	増改築②	平成27年	Ŧ	2, 460, 000	110, 000	1, 940, 000	410, 000			
	併設施設						かその他			
竣	2工年月日	昭和5	0年	三3月26日		常勤・非常勤				
供用	開始年月日	昭和5	0年	■3月26日	職員数	37	0			
	構造	鉄骨鉄筋	二 :	ノクリート造						
	面積			面積	4279. 01 m ² m					
	四1貝		床	面積	10044. 09 m² m					
117番	目的・経緯		化	の向上と地域	のコミュニー	ティ活動の伽	足進を図るた			
		め								
	関連部署									
	拠法令等	荒川区民会館条例								
	设置条例									
	車場の状況	20台	バ	リアフリー	● エレベー		ごれでもトイレ			
駐車	輪場の状況	197台		対応状況	● 点字ブロ	ック 🔵 ス	ベロープ			





Ⅱ管理道	軍営の状況	2											
管理	里形態	指定管理	(株)ケイミックス	、パブリックビジネ)	ス期間	平成30年 令和5年3							
		│ ○文化活動の実	<u> </u> 施に関する事業			一 市和5年3	H 1 로 (
事業	美内容	○会館の施設 <i>の</i>	Ň地域コミュニティ活₫ ○利用に関する事業 Ň要と認める事業	動に関する相談及び	情報の提供に関する	6事業							
対	象者	者 区民及び一般市民											
雷党	時間等	運営時間	午前9時から午後10時										
廷占	바키비 기	休日	年末年始(12月29日~										
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)						
施	大ホール:	年間利用者数(人	·	0	146, 277	156, 510	150, 266						
設		年間利用者数(人	, 00,000		56, 815	53, 329	57, 010						
基		間利用者数(人	.,		74, 476	80, 518							
本		·貸出稼働率(%)	56		55	63	58						
デ		·貸出稼働率(%)	62	0	56	55	58						
	1100	出稼働率(%)	41	0	37	41	39						
タ	文化芸能	のイベント数	245	0	226	252	250						
等													
に指	指定管理	料(千円)	163, 397	37. 133	154, 850	171. 780	159, 404						
用係定		の支出合計 (千円			223, 362	243, 479	227, 281						
等る管	指定管理	者の人件費(千円	59, 172	21, 458	59, 075	64, 952	42, 107						
費理	指定管理者	の利用料金収入(千	円 66, 485	0	65, 887	75, 235	72, 041						
備考	平成27年	度は大規模改修	のため1年間休館(受	付機能は移転して網	≭続したため人件費領	等は発生)							

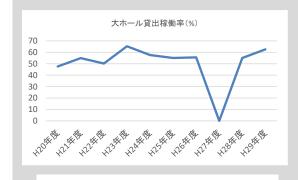
	正財務諸表 (単位:千円)											
勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額					
給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0					
物件費	169, 192	167, 673	▲ 1, 519	← 国庫支出金	0	0	0					
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0					
行 扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0					
政 補助費等	60	740	680	使用料及び手数料	4, 378	4, 382	4					
費減価償却費	15, 930	15, 930	0	その他	5, 322	25, 301	19, 979					
用 不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9, 700	29, 683	19, 983					
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	175, 482	154 , 660	20, 822					
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3,859	▲ 3, 966	▲ 107					
行政費用合計(b)	185, 182	184, 343	▲ 839	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 179, 341	▲ 158, 626	20, 715					
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0					
持別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 179, 341	▲ 158, 626	20, 715					
勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額					
流 収入未済	0	12, 805	12, 805		85, 535	176, 951	91, 416					
^黝 不納欠損引当金	0	0	0		0	0	0					
産 その他の流動資産	0	0	0	特別区債	85, 535	176, 951	91, 416					
有形固定資産	102, 231	102, 231	0	賞与引当金	0	0	0					
土地	102, 231	102, 231	0	その他の流動負債	0	0	0					
建物	1, 955, 347	1, 955, 347	0	固定負債	1, 857, 465	1, 680, 513	▲ 176, 952					
~ 	1 , 955, 347	1 , 955, 347	0	特別区債	1, 857, 465	1, 680, 513	▲ 176, 952					
工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0					
工作物等減価償却累計額	0	0	0		0	0	0					
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計		1, 857, 464	▲ 85, 536					
建設仮勘定	0	0			1 , 752, 797	1 , 670, 386	82, 411					
					1 , 752, 797	1 , 670, 386	82, 411					
資産の部合計	190, 203	187, 078	▲ 3, 125	負債及び正味財産の部合計	190, 203	187, 078	▲ 3, 125					
	給与関係費物件費維持補修費 維持補修費 技動費等 河大助費等 河大師助費等 河大河東京 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	総与関係費 00 物件費 169, 192 維持補修費 00 打扶助費 00 対抗助費等 60 浸減価償却費 15, 930 で 7 大砂・ 100 で 100	給与関係費	総与関係費 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	おら関係費	物件費	給与関係費					

行政費用では、給料関係費が少ない一方で、委託料として物件費が多くかかっている。主な内訳としては、指定管理者委託料に154,313千円、減免補填等の支出としてその他委託料に13,016千円かかっている。行政収入では、29年度は指定管理期間満了による引き継ぎのため、利用料金前受金15,893千円を一旦収入した。

	指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	-	_	100	100	100
財	1㎡当たりコスト(円)	-	_	18, 437	18, 353	17, 456
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%	6) –	_	26	29	19
務指	受益者負担比率(%)	-	_	28	30	30
標	開館1日当たりコスト(円)	-	_	517, 268	514, 925	
1275	利用者1人当たりコスト(円)	-	_	667	635	616
評	区民1人当たりコスト(円)	-	_	869	900	817
価						
指						
標						
等						
/±	双分类各种比索 (N) 杉並左座上比拉上了	00/184ml	- 4 14 H H M A	ゆる 杉並左 中し	LL ** 1 - 450507	

受益者負担比率 (%) が前年度と比較して2%増加しているが、これは利用料金収入が前年度と比較して約950万円増加したためである。 備考

IV 施設連営の方向性	(所管の考え方)
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)
	指標名・単位 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度(見込み)
目標指標	文化芸能の利用人数 目標値 118,130 0 122,000 122,000 122,000
	美績値 122, /52 0 97, 540 87, 483
施設運営の方向性	O 転用・多目的化 O 民営化 O 他施設との統合 O 廃止 O 現状維持 O その他()
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成2年度:荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度:指定管理者制度導入) ○ 無
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応
現状・課題	〇平成4年度(第1回)、平成27年度(第2回)に大規模改修を実施した。 〇利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの十分な対応が求められる。 〇ホールや会議室について広く周知し、利用者の拡大を図る。
課題に対する 現時点での考え	○より一層の体制強化を図り、区民ニーズにも柔軟に対応していけるよう、指定管理者と連携を図っていく。○施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取り組みを指定管理者と協議し、対応していく。
議会、利用者等からの意見	平成27年度9月会議 「区民利用の立場から見た区政会館の在り方」について



平成27年度は大規模改修のため1年間休館



平成27年度は大規模改修のため1年間休館

平成30年度 施設分析シート

I施	設の概要			施設コート	* S05	-01-02			
	施設名	日暮里サニ	ーホール						
	所在地	東日暮里五	丁目50番5号	ホテルラング	テルラングウッド4階・5階				
	部課名	地域文化ス	ポーツ部文化	L交流推進課					
tx	施設の履歴	時期	建築費	財源内容(単位:千円)					
JJT.	心改り限定	中寸均	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
	建築	平成元年	2, 000, 000	0	0	2, 000, 000			
	増改築①								
	増改築②								
	併設施設	_							
並	竣工年月日				常勤・非常勤	その他			
供用	用開始年月日	平成元	;年2月9日	職員数	13人	0人			
	構造	SI	RC造	階層	地上13階、地下3階の内、4・5階部分				
	面積	敷均	也面積	3100.03㎡の一部 m					
	山作	延足	末面積	23562.71㎡の内、2311.28㎡ m					
設置	置目的・経緯	区民文化の	向上と地域の	コミュニティ	(活動の促進	を図る。			
	関連部署	経理課							
	艮拠法令等	日草甲廿二	ーホール条例	乃び冬側協?	- #目目				
	設置条例		- 小 ル末例						
	車場の状況		バリアフリー			れでもトイレ			
馬主	輪場の状況	無	対応状況	点字ブロ	ック 〇ス	コープ			





Ⅱ管理道	軍営の状況	兄												
管理	里形態	指定管理	(株)	コングレ	期間	平成30年 令和5年3	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	からまで						
事業	美内容	〇文化活動及び 〇サニーホール	施に関する事業 地域コミュニティ活動 の施設の利用に関する 必要と認める事業		情報の提供に関する		Догц	180						
対	象者	区民及び一般市												
運営	時間等		午前9時~午後10時ま											
~-		休日	年末年始(12月29日~			亚芹00左库	亚产20左连 /	(B) 7.1						
16	W TI ITI T	- MF ()	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(
	総利用者		147, 473	154, 274	140, 332	145, 404		146, 670						
設				70, 939	63, 429	69, 066		67, 811						
基本		間利用者数(人)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	33, 795	32, 735	34, 131		33, 554						
本	ホール稼		74	71	71	69		70						
デ	サロン稼		90	91	91	90		91						
1	文化、芸能	のイベント件数(件)	668	650	631	657		646						
多等														
寸														
に指	指定管理	料(千円)	43, 247	41, 682	37, 725	36, 607		44, 502						
用係定		るの支出合計 (千円)		92, 678	91, 173	89, 835		97, 569						
等る管		者の人件費(千円)	,	46, 718	46, 242	51, 870		45, 126						
費理	指定管理者	の利用料金収入(千円	55, 777	59, 291	56, 923	57, 466		54, 500						
備考														

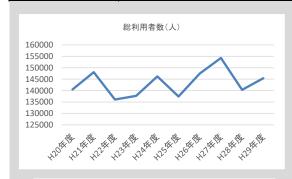
【財務諸表 (単位:千円)											
i	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額			
給与関	係費	0	0	0	地方税等	0	0	0			
物件費	,	49, 137	49, 829	692	← 国庫支出金	0	0	0			
維持補	修費	0	0	0	都支出金	0	0	0			
扶助費	,	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0			
女 補助費	等	10, 534	12, 127	1, 593	使用料及び手数料	38	38	0			
遺滅価償	却費	36, 010	36, 010	0	その他	8, 079	27, 137	19, 058			
不納欠損	員・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8, 117	27, 175	19, 058			
賞与・追	退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 87, 564	▲ 70, 791	16, 773			
その他	!行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0			
行政費	用合計(b)	95, 681	97, 966	2, 285	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 87, 564	▲ 70, 791	16, 773			
		0	0	0		0	0	0			
寺別収支港	差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 87, 564		16, 773			
		H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額			
机 収入未		6, 018	27, 245	21, 227		0	0	0			
		0	0	0		0	0	0			
∉ その他		0	0	0		0	0	0			
		325, 424	289, 414	▲ 36, 010		0	0	0			
		0	0	0		0	0	0			
H		1, 333, 703	1, 333, 703	0		0	0	0			
型 建物		1 , 008, 280	1 , 044, 290	▲ 36, 010		0	0	0			
드	乍物等	0	0	0		0	0	0			
누 그 1		0	0	0		0	0	0			
無形固		0	0	0		0	0	0			
							,	▲ 14, 783			
								▲ 14, 783			
資産の部で			322, 597	▲ 14, 783	負債及び正味財産の部合計	337, 380		▲ 14, 783			
	給物維技補減不賞を行別別 収不そ有 無建その時間 対対 は 大神	給与関係費物件構 維持補修費 技 報	総与関係費 00 物件費 49,137 維持補修費 00 技 相	総与関係費 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	総与関係費 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	総与関係費 49,137 49,829 692	給与関係費	給与関係費			

備 考 情 考 清了による引き継ぎのため、利用料金前受金19,926千円を一旦収入した。 (方政費用では、給料関係費が少ない一方で、委託料として物件費が多くかかっている。主な内訳としては、指定管理者委託 料に36,607千円、減免補填等の支出としてその他委託料に5,982千円かかっている。行政収入では、29年度は指定管理期間 満了による引き継ぎのため、利用料金前受金19,926千円を一旦収入した。

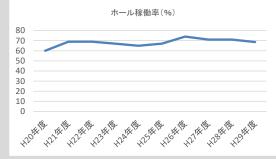
	指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	75. 6	78. 3	
財	1㎡当たりコスト(円)	-	-	41, 397	42, 386	
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	50. 7	57. 7	
指	受益者負担比率(%)	-		38. 2	38. 0	
標	開館1日当たりコスト(円)	-	-	266, 521	272, 886	
175	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	682	674	
評	区民1人当たりコスト(円)	-	-	449	456	
価						
指						
抽						
標						
等						

備 開館1日当たりコストが前年度と比較して6,365円上昇しているが、これは行政費用の物件費と補助費等が増加したためである。

IV 施設運営の方向性											
計画の有無	● 無	〇有	(計画名:)			
	指標名	・単位		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)			
目標指標	文化芸能の)利用人数	目標値	63, 000	66, 000	67, 000	65, 000	,			
			実績値	65, 362	66, 078	63, 005	70, 790	_			
施設運営の方向性	○ 転用・ ● 現状約	多目的化 推持	O 民営 O その(他施設との組	統合 C	廃止)			
管理形態の変更の推移	● 有 ○ 無	(変更内容:	平成1年度:荒	川区地域振興	公社へ運営委	託、平成18年度	₹:指定管理者	計度導入)			
利用者・地域のニーズ	施設利用者へ	へのきめ細や	かな対応								
現状・課題	管理者とれ 〇利用者から	D開館から29年を経て、施設全体の老朽化が目立ち始めている。修繕実施にあたっては、指定 管理者とホテルラングウッドとの連絡・調整が必要である。 D利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの十分な対応が求められる。 D日暮里サニーホールを広く周知し、ホールや会議室の利用者の拡大を図る。									
課題に対する 現時点での考え	〇より一層の 連携を図っ)体制強化を っていく。	図り、区民		を検討する。 軟に対応して 取り組みを指						
議会、利用者等 からの意見											



平成27年度は荒川区民会館が休館であったため、利用者が流れ、他の年度に比べて総利用人数が突出している。



ホールは例年、高い稼働率を維持している。

平成30年度 施設分析シート

I施	設の概要			施設コード S05-01-03					
	施設名	ムーブ町屋							
	所在地	荒川七丁目	50番9号 セン	ターまちや3	階∙4階				
	部課名	地域文化ス	ポーツ部文化	L交流推進課					
施	設の履歴	時期 建築費 (単位:千円)		財源内 国·都]容(単位:· 区債	「単位:千円) 区債 □ 一般財源			
	建築 平成8年 4,970,000		0	3, 470, 000	10-10-10-10-1				
	増改築①								
	増改築②								
ſ	併設施設	_							
竣	(工年月日				常勤・非常勤	その他			
供用	開始年月日	平成8:	年6月1日	職員数	10人	0人			
	構造	SI	RC造	階層	地上22階、地下2階の内、3・4階部				
	面積	敷±	也面積	3221. 29㎡の一部 m					
	山竹	延足	末面積	25557. 45㎡の内、2797. 17㎡ m					
設置	目的・経緯	区民文化の	向上と地域の	コミュニティ	活動の促進	を図る。			
	関連部署	交通対策課							
	!拠法令等 設置条例	荒川区ムー	荒川区ムーブ町屋条例及び条例施行規則						
駐車	車場の状況	1台 /	バリアフリー			れでもトイレ			
駐車	輪場の状況	22台	対応状況	点字ブロ:	ック 〇 スロ	コープ			





Ⅱ管理道	運営の状況	兄												
答 II	■ ■形態	指定管理		(#生)	 コングレ		期間	平成30年	4月1日	から				
日七	エル心	拍足旨垤		(1本)	コングレ		初间	令和5年3	月31日	まで				
,	美内容	〇ムーブ町屋の 〇その他区長が	地域コミュ 施設の利用 必要と認め	ュニティ活動 用に関する事	がに関する相談及び ■業	情報の	提供に関する	5事業						
対	象者	区民及び一般市												
渾党	時間等	運営時間		前9時~午後10時まで										
た 口	FI IFI TT	休日			-1月3日) 及び工事		点検日							
			平月	戈26年度	平成27年度	-	成28年度	平成29年度	平成30年度					
	総利用人		92, 512		124, 904		84, 666	84, 786		98, 119				
設		間利用者数(人)	35, 688	56, 375		40, 620	40, 728		45, 908				
基	ギャラリー	-年間利用者数(人)	40, 534	48, 315		30, 134	31, 453		36, 634				
基 本 デ	ムーブホ	ニール稼働率(%	,		70		60	64		65				
デ	ギャラリ	一稼働率(%)	57		53		54	53		53				
- 1	文化、芸能	ものイベント数 (件)	497	519		597	243		453				
タ														
等														
に指	指定管理	!料(千円)		33, 991	35, 011		35, 524	35, 550		34, 030				
用係定		首の支出合計 (千円)	63, 893	64, 913		63, 250 29, 350	64, 914		60, 160				
等る管		者の人件費(千円		31, 791		32, 259		38, 228		31, 878				
費理	指定管理者	の利用料金収入(千円	3)	29, 016	32, 649		31, 447	32, 144		30, 650				
備考														

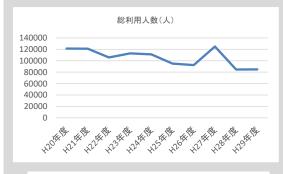
Ⅲ財務諸表 (単位:千円)										
行		勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	
		物件費	37, 576	40, 188	2, 612	_年 国庫支出金	0	0	0	
1丁		維持補修費	0	11, 635	11, 635	都支出金	0	0	0	
以口		扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	38, 679	41, 407	2, 728	† 使用料及び手数料	0	0	0	
î		減価償却費	91, 001	91, 001	0	へその他	1, 070	11, 248	10, 178	
計		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1, 070	11, 248	10, 178	
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	166 , 186	172 , 983	▲ 6, 797	
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	167, 256	184, 231	16, 975	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 166, 186	172 , 983	▲ 6, 797	
	特	別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0	
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 166, 186	172 , 983	▲ 6, 797	
	勘定科目		H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
	流動資産	収入未済	3, 382	14, 614	11, 232	流 <u>動負債</u>	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
貸	固定資産	有形固定資産	2, 976, 030	2, 885, 029	▲ 91, 001	賞与引当金	0	0	0	
借		土地	1, 516, 648	1, 516, 648	0	その他の流動負債	0	0	0	
쉬		建物	3, 370, 397	3, 370, 397		固定負債	0	0	0	
対照表		建物減価償却累計額	1 , 911, 015	2 , 002, 016	▲ 91, 001	特別区債	0	0	0	
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
		建設仮勘定	2, 260	2, 260		正味財産	2, 981, 672	2, 901, 903		
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	2, 981, 672	2, 901, 903	▲ 79, 769	
	資.	産の部合計	2, 981, 672	2, 901, 903		負債及び正味財産の部合計	2, 981, 672	2, 901, 903	▲ 79, 769	
	(行		が小ない一方	で 季託料人	- L て物件書	が多くかかっている	主か内訳とし	してけ 指定	告理者季季	

行政費用では、給料関係費が少ない一方で、委託料として物件費が多くかかっている。主な内訳としては、指定管理者委託 料に35,550千円、減免補填等の支出としてその他委託料に1,600千円かかっている。行政収入では、29年度は指定管理期間 満了による引き継ぎのため、利用料金前受金9,825千円を一旦収入した。

	指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	56. 7	59. 4	
	1 ㎡当たりコスト(円)	-	-	59, 795	65, 863	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	46. 4	58. 9	
	受益者負担比率(%)	-	-	16. 1	15. 0	
	利用者1人当たりのコスト(円)	-		1, 975	2, 173	
175	開館1日当たりのコスト(円)	-		465, 894	513, 178	
評	区民1人当たりコスト(円)	-		784	858	
価指						
標						
等						

備考 開館1日当たりコストが前年度と比較して47,284円上昇しているが、これは行政費用の物件費、維持補修費及び補助費等が 増加したためである。

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)						
計画の有無	● 無 ○ 有	(計画名:)
	指標名・単位		H26年度	H27年度	H28年度	<u>_</u> • //	H30年度(見込み)
目標指標	文化芸能の利用人数	目標値	38, 000		38, 000	32, 000	,
	人に安能の利用八数	実績値	26, 097	37, 345	30, 380	31, 191	
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O その(他施設との組	· 统合 C	廃止)
管理形態の変更の推移	▲ 右 (変更内容・平成8年度・荒川区地域振興公社へ運営季託 平成18年度・指定管理者制度道						
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細や	かな対応					
の開館から22年を経て、施設全体の老朽化が目立ち始めている。修繕実施にあたっ 管理者とセンターまちや管理組合との連絡・調整が必要である。 ○利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの十分な対応が求められる。 ○ムーブ町屋を広く周知し、ホールやギャラリーの利用者の拡大を図る。							t、指定
課題に対する 現時点での考え	○関係部署や施設と調整 ○より一層の体制強化を 連携を図っていく。 ○施設稼働率の向上及び いく。	図り、区民	ニーズにも柔	軟に対応して			. –
議会、利用者等 からの意見							



平成27年度は荒川区民会館が休館であったため、利用者が流れ、他の年度と比べて総利用人数が突出している。



平成27年度は荒川区民会館休館に伴う利用人数の増 加で、ムーブホール稼働率も向上した。